

# EuroCave®

## 取扱説明書

このたびはEuroCaveワインセラーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。大切なワインをベストコンディションで熟成保存させるために、この説明書の内容をよくご理解の上、操作・管理をお願いいたします。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管しておいてください。

この説明書を紛失、または損傷された場合は、速やかに当社またはお買い求めの販売店へご連絡の上、ご請求ください。また、当製品を譲渡されます場合にも、必ずこの説明書を添付されますようお願いいたします。

もくじ

### お使いになる前に

	ページ
安全のために必ずお守りください	1
据えつけから運転開始まで	3
機能・注意事項	5
各部の名称・タイプ別温度窓	6
全機種の様式一覧	7
棚の種類	9

### 上手な使い方

温度調節・ファースト	11
・ヴィエイテック	13
・デュオ	15
・セルヴィテック	17
引出し棚のレール・ 貯蔵棚のフックの取付け方	20
ワインボトルの並べ方	21
引出し棚のボトルの並べ方	22

### お手入れ・困ったとき

保守点検の仕方(1) 排水の処理	23
後部放熱網の清掃/ カーボンフィルターの交換	24
保守点検の仕方(2) デジタル温度計の電池交換	25
引出し棚の調整	26
故障かな?と思ったら(1)	27
故障かな?と思ったら(2)	29
こんなときには	30

### 保証とアフターサービス

**⚠ 注意** 設置後48時間以内は電源を入れないでください。

\*トラックでの搬送時の微振動や、搬入時の本機の傾斜により、コンプレッサー内のオイルや冷媒ガスが不安定になっています。正常な冷却運転には、設置後、静止時間をおいてオイルや冷媒ガスを安定させることが必要ですので、48時間経ってから電源を入れるようにご注意ください。

\*備え付けの棚がしっかりと取り付けられているか、フックやレールが外れていないかをご確認ください。

## 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています







### 危険 警告

死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

### 注意

傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

■図記号の意味は次の通りです

-  絶対に行なわないでください
-  絶対に分解・修理・改造はしないでください
-  絶対に水をかけたりしないでください
-  絶対にぬれた手で触れないでください
-  必ず指示に従って行ってください
-  必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

### 引出し棚を2枚以上引出してボトルを並べない



ボトルの入った棚を一度に2枚以上引出すと、重みで本体転倒の恐れがあります。引出し棚は、1枚だけ半分程度引出してボトルを入れ、並べ終わったら扉内へ押し戻してから次に並べる棚も同じように1枚だけ引出して、ボトルを入れてください。

電源プラグは、ほこりをとり、刃の根元まで確実に差し込む



ほこりが付着したり、不十分な差し込みは、発熱発火の原因になります。

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う



それ以外でのご使用は、発熱、発火の原因になります。

分解したり、修理・改造は絶対にしない



異常動作して、本機の故障、またはけがをすることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを必ず抜く



感電、けがの原因になります。

異常時(こげ臭いなど)は電源プラグを抜き、運転を中止する



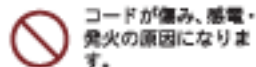
異常のまま運転を続けると、漏電・火災の原因になります。

上に重いものや、水の入った容器を置かない

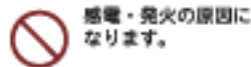


扉の閉閉で落ちるとけがをすることがあります。また、こぼれた水で絶縁不良になり、電源が落ちたり、感電の原因になります。

電源プラグはコードを引っ張って抜かない



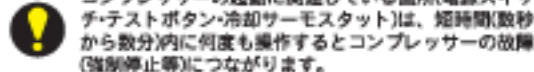
傷んだコードやプラグ、差込がゆるいコンセントは使わない



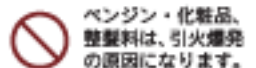
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



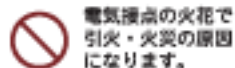
ワインの入れ替え等で電源を切った場合、再び電源を入れるのは10分以上経ってから行なう



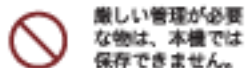
揮発性の引火しやすいものは入れない



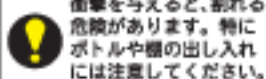
可燃性スプレーは近くで使わない



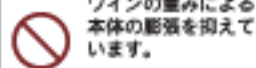
ワイン以外のものを保存しない



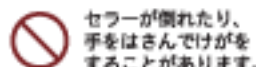
ガラス扉には衝撃を与えないこと



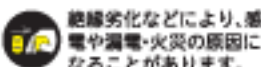
膨張防止バーは絶対にはずさない



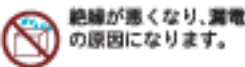
ドアにぶらさがらない、引出し棚に乗らない



長期間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く



湿度が常時75%以上の場所、水のかかる場所への設置はさける



基本的な警告ラベルをコントロールパネル裏面に貼付してあります

廃棄処分するときは、家電リサイクル法に基づいて行ってください



# 据えつけから運転開始まで

## 据えつけ場所

- 日陰で熱気の当たらない風通しの良い場所
- 湿気の少ない場所  
(極端に湿気の多い場所、または少ない場所は避けてください)
- 床が丈夫で水平な場所
- 吸気排気の換気が充分になされる場所
- 設置場所がフローリング等の板の場合、コンプレッサー音が床材に共振することがあります。その際は吸音マットあるいは防振マット等を敷いてください。

### ＜設置を避けるべき場所＞

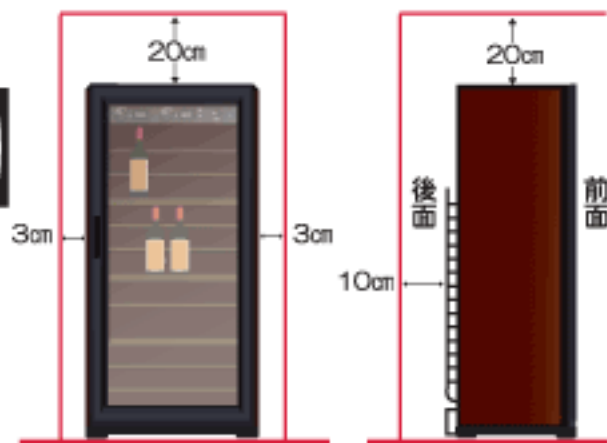
- \* 密閉状態
- \* ガスコンロなど裸火付近
- \* 数台のコンプレッサー機器廻り
- \* シンク・手洗い等水廻り周辺
- \* 厨房内或いはその周辺

## 周囲に放熱スペースをあける

- 後壁～10cm以上
- 天井～20cm以上
- 左右横壁～3cm以上

【ビルトイン、  
はめ込み式は  
別途ご相談く  
ださい。】

コンプレッサーを正常に運転させ、  
適正な温度と湿度を保つための必  
要条件です。



電源はワインセラー  
専用で

### ▲ 警告

100V単相以外での使用やタコ足配線は、発熱・火災の原因になります。また電圧低下を招き、コンプレッサーの不作動にもつながりますので絶対にお止めください。

トランス(変圧器)の  
使用について

### ▲ 注意

本機は115V60Hz仕様です。家屋内の電気使用量が一時的に増加した場合、家屋側の電圧低下を招き、コンプレッサーが作動しない場合があります。コンプレッサー不作動防止のため、付属のトランスを必ずご使用ください。

※トランスの使用説明書を必ずお読みになり、内容を厳守してください。

上手に保存する  
ために

- ワインボトルは、乾いた布等で水滴などを拭き取ってから庫内に入れてください。
- コルクが乾かないよう、ワインは横に寝かせて保存してください。  
(縦置き棚、K棚・P棚は対象外)
- 庫内やラックにカビが発生する場合がありますので、年2回程度乾いた布等で拭くことをおすすめします。
- ワインを10℃以下で長期保存すると、熟成が進まず酒石酸が発生することがあり劣化を招く恐れがあります。

日常の管理について

### ▲ 注意

夏季は3日に一度、その他の季節は週に一度、庫内温度と結露状態を確認してください。

## 機能・注意事項

# ワインのために最適な環境を

ユーロカーブはフランス古来の自然地下貯蔵庫（カーブ）を忠実に再現した、理想的なワインセラーです。機種により、設定温度が異なります。用途に合わせてご利用ください。

### ∴ 冷却システム ∴

設定温度より外部温度が高い場合、コンプレッサーが自動的に冷却作業をはじめ、庫内を適温に維持します。

### ∴ 加湿システム ∴

通気孔からの外気が、冷却システムにより冷たくなった庫内アルミパネルにふれて自然に結露し、湿度を保ちます。

### ∴ 加熱システム ∴

外部温度が庫内温度より低い場合、弱熱ヒーターが作動し庫内を適温（例：約12℃）まで上昇させ維持します。

### ∴ 換気システム ∴

上下2カ所の通気孔より庫内に新鮮な空気を取り入れます。上部通気孔には脱臭のため、カーボンフィルターが取り付けられています。



**危険**

\* 感電防止のため、コンセントおよびコントロールパネル、また後部のコンプレッサー周りを含む電気関係にはぬれた手や水気のある布等で触らないでください。

\* 電源を入れたまま作業しないでください。



**注意**

\* 『電源スイッチ』『テストボタン』『サーモスタット』を短時間（数秒～数分）内に何度も操作すると故障やコンプレッサーの強制停止の原因になります。ワインの入れ替えなどで電源を切った場合は、必ず10分以上経過してから再操作してください。コンプレッサーは強制停止後、自動復帰運転しない場合があります。その際は電源を一旦切り、3～4時間たってから再度入れてください。

\* 『膨張防止バー』は絶対に外さないでください。ワインの重みによる本体の膨張を抑えています。



## 全機種仕様の仕様一覧

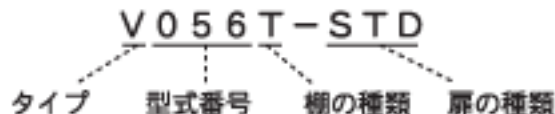
タイプ	型式	収容 ボトル数	性能	本体 標準カラー	扉	使用棚数			寸法(mm)			重量(kg)		
						S	C	M	巾	奥行	高さ	本体のみ	貯蔵時	
<b>VIEILLITHÈQUE</b> ヴィエイテック	コンパクト	V056T-STD	47	熟成貯蔵	ZA	平ドア	1		1	594	557	850	54	119
		V056P-PTHF	40	熟成貯蔵	ZA	2重スモーク ガラスドア	P棚 1組/台			594	557	850	64	116
		V156T-STD	97	熟成貯蔵	ZA	平ドア	2		1	594	557	1220	63	193
		V256T-STD	169	熟成貯蔵	ZA	平ドア	3		1	594	557	1780	80	288
		V256W-STD	120	熟成貯蔵	ZA	平ドア			14	594	557	1780	114	270
	クラシック	V064C-STD	73	熟成貯蔵	NR	平ドア		5		654	689	860	60	151
V264S-STD		240	熟成貯蔵	NR	平ドア	3			654	689	1742	84	396	
V264C-STD		190	熟成貯蔵	NR	平ドア		13		654	689	1742	134	381	
<b>DUO</b> デュオ	クラシック	D164T-STD	135	冷蔵/貯蔵	NR	平ドア	2	2		654	689	1442	90	281
		D164T-PTHF	135	冷蔵/貯蔵	NR	2重スモーク ガラスドア	2	2		654	689	1442	102	293
		D264T-STD	195	冷蔵/貯蔵	NR	平ドア	3	3		654	689	1742	107	357
		D264T-PTHF	195	冷蔵/貯蔵	NR	2重スモーク ガラスドア	3	3		654	689	1742	121	371
<b>SERVITHÈQUE</b> セルヴィテック	コンパクト	S256W-STD	120	多品種貯蔵	ZA	平ドア			14	594	557	1780	114	270
		S256W-PTHF	120	多品種貯蔵	ZA	2重スモーク ガラスドア			14	594	557	1780	126	282
	クラシック	S264C-STD	190	多品種貯蔵	NR	平ドア		13		654	689	1742	134	381
		S264C-PTHF	190	多品種貯蔵	NR	2重スモーク ガラスドア		13		654	689	1742	148	395
		S264K-PTHF	130	多品種貯蔵	NR	2重スモーク ガラスドア	K棚 4組/台			654	689	1742	101	270



タイプ	型式	収容 ボトル数	性能	本体 標準カラー	扉	使用機数			寸法(mm)			重量(kg)	
						S	C	M	巾	奥行	高さ	本体のみ	貯蔵時
<b>VIEILLITHÈQUE FIRST</b> ヴィエイテックファースト	F120S-STD	114	熟成貯蔵	ブラック	平ドア	2			654	689	1050	44	192

※ファーストはドア開きを左方向へ変換できます。添付の「FIRSTドア開き変換方法」をご参照ください。

### 型式の見方



- 各機種の仕様は標準装備の場合です。
- 収容ボトル数は、ボルドータイプ（長さ28cm直径7.5cm）での均一換算です。
- 電源：AC115V単相60Hz 電気消費量：500～900W/24H

扉の種類    STD：木製平ドア  
               PTHF：2重スモークガラスドア

棚の種類    S：貯蔵棚  
               C：引出し棚  
               M：引出し棚  
               T：貯蔵棚+引出し棚  
               K：ディスプレイ棚（3枚/1セット）  
               P：引出し式ディスプレイ棚（3枚/1セット）

# 棚の種類

【コンパクトタイプ S, M, T, P】



S…貯蔵棚

+



M…引出し棚

= T…S(貯蔵棚) + M(引出し棚)



P…引出し式ディスプレイ棚 (3枚/1セット)  
※V056P-PTHFのみ適用

コンパクト	型 式	収 ポ ト ル 数	
	V056T-STD	47	※
	V056P-PTHF	40	※
	V156T-STD	97	※
	V256T-STD	169	
	V256M-STD	120	

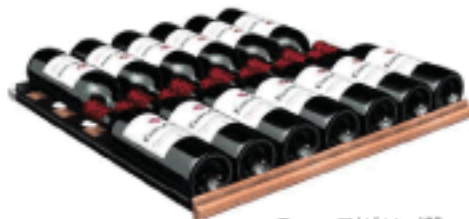
\*型式のこの部分の記号です。

【クラシックタイプ S, C, T, K】



S…貯蔵棚

+



C…引出し棚

=

T…S (貯蔵棚) +  
C (引出し棚)



K…ディスプレイ棚 (3枚/1セット)

# 温度調節

**VIEILLITHÈQUE**
**FIRST**
**ヴィエイテック  
ファースト**

ファーストは、コンプレッサー冷却とヒーター加熱の交互作用により庫内温度を約12℃に維持します。



サーモスタットの温度設定・操作は下記の方法を必ずお守りください。

**■操作手順■**

- ① サーモスタット(図-⑤)は10℃から14℃の範囲内で設定してください。
- ② 電源ON/OFFスイッチ(図-①)を入れてください。その後自動運転に入ります。

\*デイスレー(マルチ温度)としては使用できません

**⚠ 注意**

- 注1)  
サーモスタット(図-⑤)の設定を変更するときは、電源を切ってからダイヤルを回してください。電源スイッチ(図-①)を入れたままダイヤルを回すとコンプレッサーが止まる場合があります。設定後10分以上経過してから電源を入れてください。
- 注2)  
テストボタン(図-③)は正常に通電しているか、コンプレッサーやヒーターが正常に作動しているかを確認するためのボタンです。普段は操作しないでください。操作時：右側に数秒押しつづけてください。稼働ランプ(図-②)が点灯すれば、正常に通電しています。
- 注3)  
テストボタンを連打すると、コンプレッサーが停止する場合がありますので、絶対に行わないでください。

### ◆ファーストの温度設定について◆

- ・サーモスタットの基本的な温度設定は、12℃です。(11ページ参照)
- ・冷却稼働後、温度が安定してくると、庫内全体の温度は約12℃となります。
- ・この温度への到達時間は(ボトルの収容本数や環境温度にもよりますが)10時間から24時間かかり、ワインに急激な温度変化を与えないように、ゆっくりと冷却していきます。

#### 設定数値とデジタル温度表示の増減について

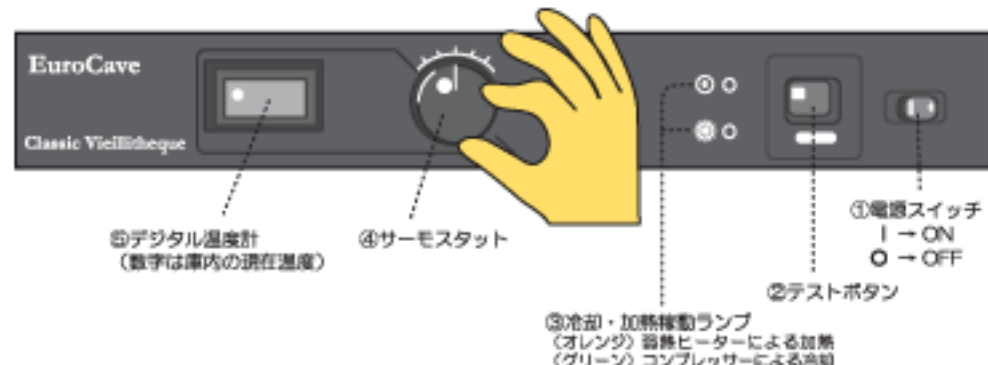
- ・コンプレッサーによる冷却方式は、コンプレッサーの入り切り(稼働/停止)により設定数値とプラス2℃~マイナス2℃の範囲で増減があります。設定温度まで温度が到達するとコンプレッサーは一旦停止しますが、デジタル温度計の表示は冷却運転の余力により、設定数値より約2℃下がります。またその後、設定数値より約2℃上がりますが、この時の温度表示は、庫内パネルのセンサー付近の空気の温度を感知したものです。一旦設定温度に到達した後、ワインの温度は設定数値に近い温度を維持します。

# 温度調節

## VIEILLITHÈQUE

### ヴィエイテック

ヴィエイテック(Vタイプ)は、コンプレッサー冷却とヒーター加熱の交互作用により庫内温度を約12℃に維持します。



サーモスタットの温度設定・操作は下記の方法を必ずお守りください。

#### ■操作手順■

- ① サーモスタット(図-④)は10℃から14℃の範囲内で設定してください。
- ② 電源ON/OFFスイッチ(図-①)を入れてください。その後自動運転に入ります。

\*デイスレー(マルチ温度)としては使用できません

### ⚠ 注意

- 注1)  
サーモスタット(図-④)の設定を変更するときは、電源を切ってからダイヤルを回してください。電源スイッチ(図-①)を入れたままダイヤルを回すとコンプレッサーが止まる場合があります。設定後10分以上経過してから電源を入れてください。
- 注2)  
テストボタン(図-②)は正常に通電しているか、コンプレッサーやヒーターが正常に作動しているかを確認するためのボタンです。普段は操作しないでください。  
操作時：右側に数秒押しつけてください。稼働ランプ(図-③)が点灯すれば、正常に通電しています。
- 注3)  
テストボタンを連打すると、コンプレッサーが停止する場合がありますので、絶対に行わないでください。

### ◆ヴィエイテックの温度設定について◆

- ・サーモスタットの基本的な温度設定は、12℃です。(13ページ参照)
- ・冷却稼働後、温度が安定してくると、庫内全体の温度は約12℃となります。
- ・この温度への到達時間は（ボトルの収容本数や環境温度にもよりますが）10時間から24時間かかり、ワインに急激な温度変化を与えないように、ゆっくりと冷却していきます。

#### 設定数値とデジタル温度表示の増減について

- ・コンプレッサーによる冷却方式は、コンプレッサーの入り切り（稼働/停止）により設定数値とプラス2℃～マイナス2℃の範囲で増減があります。設定温度まで温度が到達するとコンプレッサーは一旦停止しますが、デジタル温度計の表示は冷却運転の余力により、設定数値より約2℃下がります。またその後、設定数値より約2℃上がりますが、この時の温度表示は、庫内パネルのセンサー付近の空気の温度を感知したものです。一旦設定温度に到達した後、ワインの温度は設定数値に近い温度を維持します。

# 温度調節

## DUO

### デュオ

デュオ（Dタイプ）は、コンプレッサー冷却とヒーター加熱により庫内に温度差を生じさせ、冷蔵室約8℃・中段約12℃で庫内温度を維持します。



**注意**

サーモスタットの温度設定・操作は基本的に下記の方法をお守りください。

#### ■操作手順■

- ① 冷却サーモスタット(図-④)を8℃に設定してください。
- ② 加熱サーモスタット(図-⑥)を12℃に設定してください。
- ③ 電源ON/OFFスイッチ(図-⑩)を入れてください。その後自動運転に入ります。

下部冷蔵室に氷が付着する場合、ワインセラーの環境温度と湿度が関係していることがあります。

その際は、①冷却サーモスタットを9℃

②加熱サーモスタットを13℃ に設定してください。

庫内温度は、下部冷蔵室9℃前後、貯蔵室13℃前後になります。

注1)

冷却サーモスタット(図-④)の設定を変更するときは、電源を切ってからダイヤルを回してください。電源スイッチ(図-⑩)を入れたままダイヤルを回すとコンプレッサーが止まる場合があり、自動復帰運転しないことがあります。設定後10分以上経過してから電源を入れてください。

注2)

テストボタン(図-⑨)は正常に通電しているか、コンプレッサーやヒーターが正常に作動しているかを確認するためのボタンです。普段は操作しないでください。

操作時：右側に数秒押しつけてください。稼働ランプ(図-⑧)が点灯すれば、正常に通電しています。

注3)

テストボタンを連打すると、コンプレッサーが停止する場合がありますので、絶対に行なわないでください。



## ◆デュオの温度設定について◆

- ・サーモスタットの基本的な温度設定は、④冷却サーモスタットの数値が8℃/⑤加熱サーモスタットの数値が12℃です。  
(15ページ参照) **環境温度・湿度により設定値を変更することがありますのでご注意ください。**
- ・冷却サーモスタットと加熱サーモスタットの設定数値は、4℃の差を設けてください。

### --- (例) 冷却サーモスタット 8℃設定/加熱サーモスタット 12℃設定の場合 ---

本機全体の温度構造は、冷却サーモスタットの設定数値が基準となり庫内の温度を決定しています。冷却サーモスタットを8℃に設定した場合、中段は自動的に約4℃プラスされた温度(12℃)になるように設計されています。

- ・冷却稼働後、温度が安定してくると、最下段は約8℃、中段は約12℃となります。
- ・この温度への到達時間は(ボトルの収容本数や環境温度にもよりますが)10時間から24時間かかり、ワインに急激な温度変化を与えないように、ゆっくりと冷却していきます。

### 設定数値とデジタル温度表示の増減について

- ・コンプレッサーによる冷却方式は、コンプレッサーの入り切り(稼働/停止)により設定数値とプラス2℃~マイナス2℃の範囲で増減があります。設定温度まで温度が到達するとコンプレッサーは一旦停止しますが、デジタル温度計の表示は冷却運転の余力により、設定数値より約2℃下がります。またその後、設定数値より約2℃上がりますが、この時の温度表示は、庫内パネルのセンサー付近の空気の温度を感知したものです。一旦設定温度に到達した後、ワインの温度は設定数値に近い温度を維持します。

# 温度調節

## SERVITHÈQUE セルヴィテック

セルヴィテック (Sタイプ) は、コンプレッサー冷却とヒーター加熱により庫内に温度差を生じさせ、最下部約9℃～中段約12℃～最上部約18℃を維持します。



**注意**

注1)  
冷却サーモスタット(図-④)の設定を変更するときは、電源を切ってからダイヤルを回してください。電源スイッチ(図-①)を入れたままダイヤルを回すとコンプレッサーが止まる場合があります。自動復帰運転しないことがあります。設定後10分以上経過してから電源を入れてください。

注2)  
テストボタン(図-②)は正常に通電しているか、コンプレッサーやヒーターが正常に作動しているかを確認するためのボタンです。普段は操作しないでください。

操作時：右側に数秒押しつづけてください。稼働ランプ(図-③)が点灯すれば、正常に通電しています。

注3)  
テストボタンを連打すると、コンプレッサーが停止する場合がありますので、絶対に行なわないでください。

サーモスタットの温度設定・操作は基本的に下記の方法をお守りください。

### ■操作手順■

- ① 冷却サーモスタット(図-④)を9℃に設定してください。
- ② 加熱サーモスタット(図-⑤)を18℃に設定してください。
- ③ 電源ON/OFFスイッチ(図-①)を入れてください。その後自動運転に入ります。

\*長期熟成保存用としては使用できません

## ◆セルヴィテックの温度設定について◆

- ・サーモスタットの基本的な温度設定は、④冷却サーモスタットの数値が9℃/⑥加熱サーモスタットの数値が18℃です。(17ページ参照)
- ・冷却サーモスタットと加熱サーモスタットの数値設定は、9℃の差を設けてください。

### ----- (例) 冷却サーモスタット9℃設定/加熱サーモスタット18℃設定の場合 -----

本機全体の温度構造は、冷却サーモスタットの設定数値が基準となり各段の温度を決定しています。冷却サーモスタットを9℃に設定した場合、最上段は自動的に約9℃プラスされた温度(18℃)になるように設計されています。加熱サーモスタットの役割は、冷却時、加熱設定温度より下がらないように最上部の(弱熱)ヒーターが短時間(数十分程度)入るようになっていきます。

ヒーターの連続稼働による火災の危険は全くありませんが、操作盤に表示された数値以上の極端に高い設定をすると、最上部のワインを傷める原因となることがあります。

- ・冷却稼働後、温度が安定してくると、最下段は約9℃、最上段は約18℃となります。この時、加熱サーモスタット側のデジタル表示は、21℃前後を表示している時がありますが、この温度は、最上部の操作盤に内蔵されているセンサーが感知している部分であり、最上段のボトルの温度は18℃平均に維持されています。
- ・設定温度への到達時間は(ボトルの収容本数や環境温度にもよりますが)10時間から36時間かかり、ワインに急激な温度変化を与えないように、ゆっくりと冷却していきます。

## 温度調節

### 設定数値とデジタル温度表示の増減について

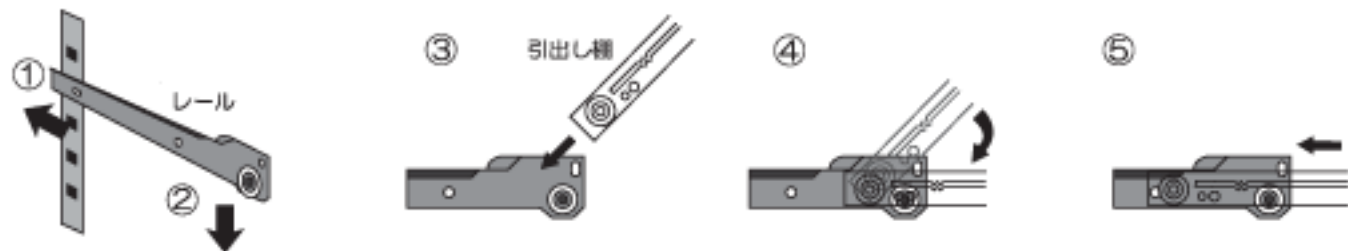
- ・コンプレッサーによる冷却方式は、コンプレッサーの入り切り（稼働/停止）により設定数値とプラス2℃～マイナス2℃の範囲で増減があります。設定温度まで温度が到達するとコンプレッサーは一旦停止しますが、デジタル温度計の表示は冷却運転の余力により、設定数値より約2℃下がります。またその後、設定数値より約2℃上がりますが、この時の冷却側のデジタル温度表示は、庫内パネルのセンサー付近の空気の温度を感知したものです。加熱側の温度は冷却温度に追従した温度表示になっておりますが、一旦設定温度に到達した後、各段の温度（ワインの温度）は、ほぼ設定数値に近い温度を維持しています。



- \*冷却サーモスタットの温度設定は、7℃から12℃の範囲内でご使用ください。6℃以下の設定でご使用になると氷付きが激しくなることがあります。13℃以上に設定した場合は、デイスレーター（マルチ温度）としての機能を果たさない場合があります。
- \*加熱サーモスタットの温度設定は、16℃から21℃の範囲内でご使用ください。22℃以上に設定した場合、最上段のワインを傷めることがあります。

# 引出し棚のレール・貯蔵棚のフックの取付け方

## ■引出し棚のレールの取付け方■



- ①レールを本体アルミパネルの左右側面の穴に水平に当て、本体奥の穴に差し込み、
- ②本体手前の穴に垂直にしっかり差し込む。
- ③レール取付け後、棚を斜めにしてレールに差し込み、
- ④棚のキャスターをレールに入れる。
- ⑤棚を水平にして奥に差し込む。

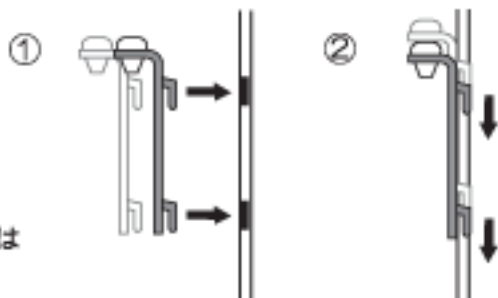
## ■貯蔵棚フックの取付け方■

- ①本体アルミパネルの左右側面の穴に水平に当てて押し込む。
- ②垂直にしっかりと差し込む。



**注意**

引出し棚のレール、および貯蔵棚のフックの着脱の際はケガ防止のため、軍手等をご使用ください。

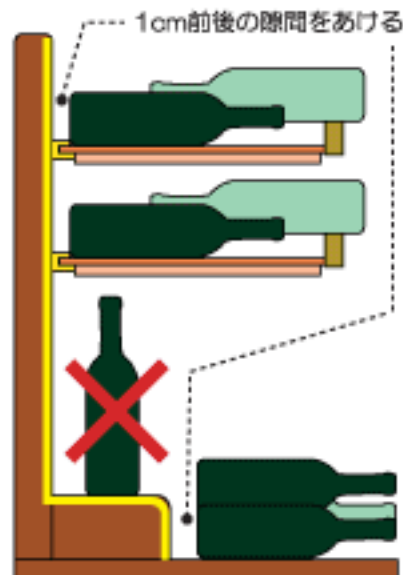


上手な使い方

温度調節／引出し棚のレール・貯蔵棚のフックの取付け方

# ワインボトルの並べ方

ボトルの並べ方は機種や棚・ボトルの種類により異なります

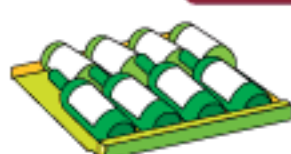


▲庫内内部を横から見た図

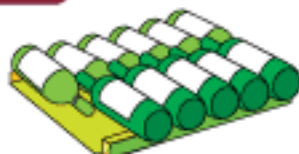
## 警告

- \* ボトルを庫内後面と最下部の階段部分（左図黄色部分）に絶対に当てないこと。
- \* 冷却過多となります。また結露増加をまねき、ラベルを傷める原因になることがあります。
- \* ボトルが氷結し、破裂する危険もあります。
- \* ボトルを入れるときは、後面に一度ゆっくり当たるように入れてから、手前に1cm前後戻して隙間をあけてください。
- \* 最下部は結露水がたまりやすいので、ラベルの保護にはご注意ください。

## 並べ方の一例



<型式番号064/164/264>



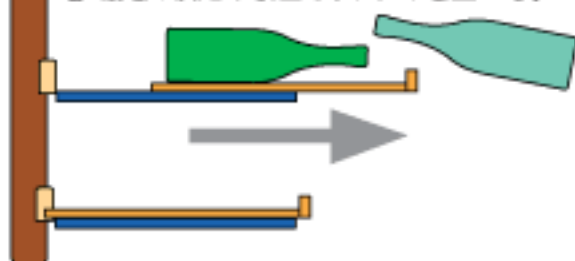
<型式番号056/156/256>



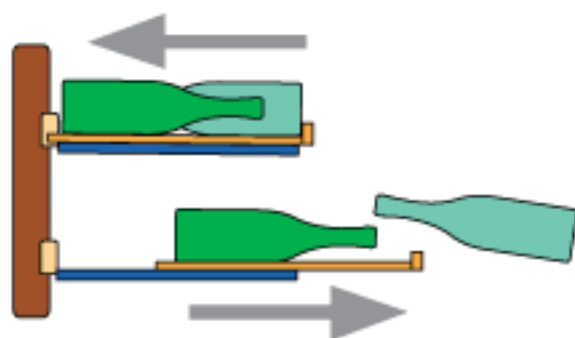
<縦置き用>

# 引出し棚のボトルの並べ方

① 棚を1枚だけ引出し、ボトルを並べる。

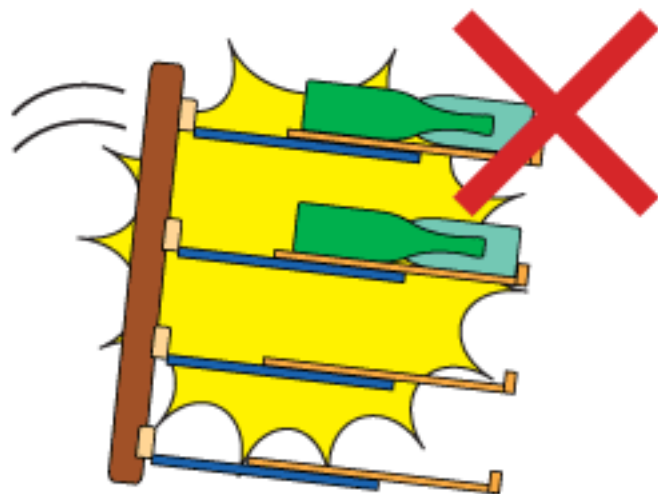


② 並べ終わった棚を庫内へ戻してから、次の棚を引出す。



**危険**

棚を2枚以上引出してボトルの出し入れをしないこと。  
ボトルの重みで本体転倒の恐れがあります。



普段のボトルの出し入れも1枚ずつ行なう。

上手な使い方

ワインボトルの並べ方/  
引出し棚のボトルの並べ方

## 保守点検の仕方(1)

### ◆排水の処理◆

排水は、庫内の『排水パイプ』から庫外後部の『排水受け』へと流れて蒸発しますが、蒸発しきれない場合もありますので、庫内底面に布等を敷き、水をしみこませて排水を処理してください。環境温度により、多少排水量は違いますが、夏季は1週間に1度、冬季は1カ月に1度底面に敷いた布を点検することをおすすめします。

### ⚠ 注意

<056/156/256>

このトイには布をかぶせないで、底面のフラット部分だけに布を敷いてください。

<064/164/264>

底面全体に布を敷いてください。

<型式番号F120>

・排水受けは脱着式でコンプレッサーに搭載されています。コンプレッサーの熱で排水を蒸発させます。

<型式番号056/156/256>

・排水受けに弱熱銅管が入っており、排水を強制蒸発させます。

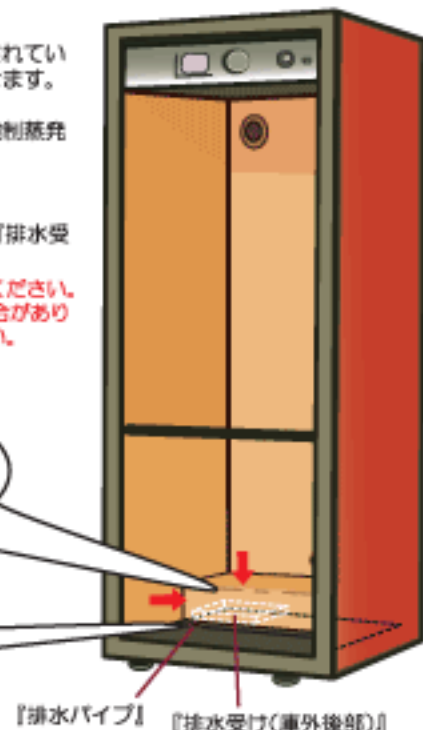
・構造上『排水受け』を取り出せません。

<型式番号064/164/264>

・セラーと後の壁の間が25cmあいていれば、『排水受け』を取り出せます。

※取り出す際は、必ず電源を切ってから行ってください。周辺部分(コンプレッサー)がたいへん熱い場合があります。また、水をこぼさないようご注意ください。

こちらのアルミパネルには絶対に布やワインボトル等を当てないでください。結露が激しくなり、氷付きの原因になることがあります。





## ◆本体後部放熱網の清掃◆

半年に一度行なってください

本体後部にある放熱網は高熱のため、ほこり等が付着してコンプレッサーの冷却能力を下げる原因になります。

- ① 必ず最初に電源を“○”（切）にする。
- ② ほうき等で放熱網のほこりを落とす。（放熱網を傷める様な金属ブラシ等のご使用はお止めください）
- ③ 清掃終了後、10分以上経過してから電源を“Ⅰ”（入）にする。

## ◆カーボンフィルターの交換◆

年に一度行なってください

カーボンフィルターの脱臭効力は約1年です。  
フィルター内の活性炭が劣化し固まると、通気を妨げることにもなります。  
（フィルターに関しては、当社またはお買い求めの販売店までお問合せください）

- ① 本体とフィルターとのすき間に細いドライバーを差し込んでカーボンフィルターを取り外す。
- ② 新しいカーボンフィルターを差し込む。

カーボンフィルター  
ドライバーの先を本体と  
カーボンフィルターのす  
き間に入れ、取り外す

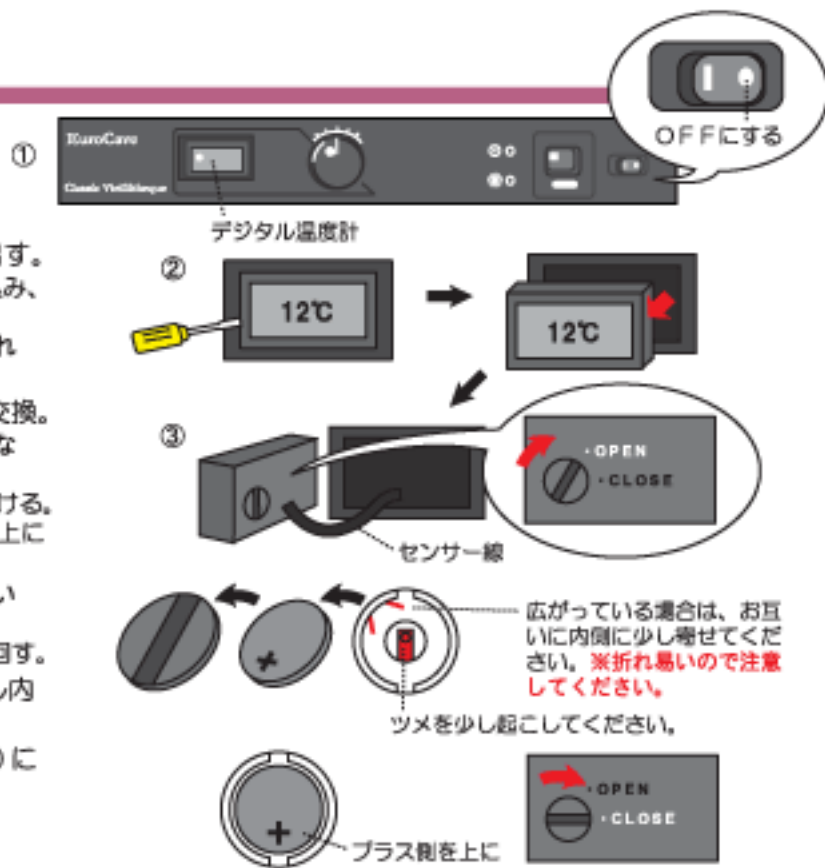


## 保守点検の仕方(2)

### ◆デジタル温度計の電池交換◆

- ①必ず最初に電源を“O”（切）にする。
- ②コントロールパネルから、デジタル温度計を引き出す。  
細いマイナスドライバーを表示部の枠とシールの間に差し込み、温度計をゆっくりと引き出す。  
※ドライバーを差し込み温度計を引き出す時は、破損の恐れがありますので充分ご注意ください。
- ③引き出したデジタル温度計の裏に入っている電池を交換。  
※センサー線が外れる恐れがありますので、引っ張り過ぎないようにご注意ください。  
ふたをマイナスドライバー等で“OPEN”の方へ回して開ける。  
古い電池を取り出し、新しい電池を入れる。（+プラス側を上に向けるように！）  
※古い電池を取り出す際は、マイナスドライバー等をお使いください。  
ふたをしてマイナスドライバー等で“CLOSE”の方へ回す。
- ④センサー線がはさまらないようにコントロールパネル内へ戻し、デジタル温度計をはめ込む。
- ⑤電池交換後、10分以上経過してから電源を“I”（入）にする。

交換電池：LR44



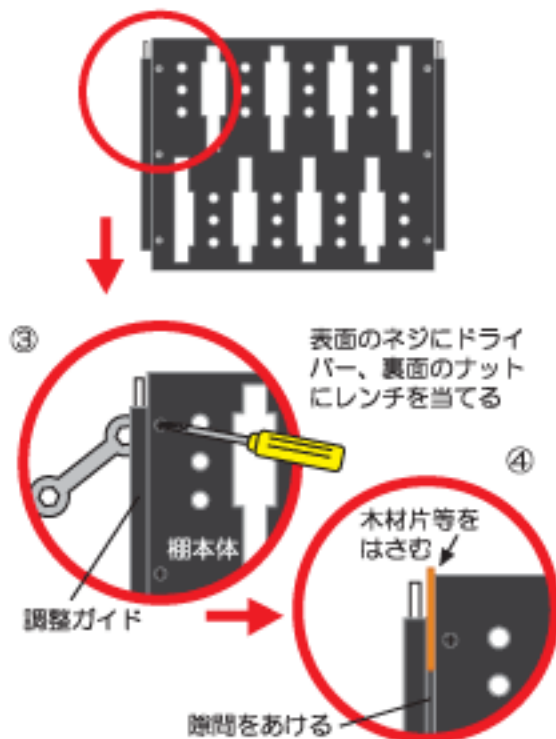
## ◆引出し棚の調整◆

棚がレールから脱落する、出し入れが固い等、動きがスムーズでないときは、棚の幅を調整してください。

用意するもの

プラスドライバー、7mmメガネレンチ（またはスパナ、ペンチ等）  
厚さ2～3mmの木材片等

- ①棚を本体から取り出す。  
棚を引出して止まったら、棚の手前を上を持ち上げて取り外す。
- ②棚についているマットを外す。（M棚の場合のみ）
- ③正面から見て左側裏面のボルトナット2個または3個（機種による）をすべて弛める。  
※その際、表面のネジをドライバーで固定し、裏面のナットをレンチで弛める。
- ④棚の先端の調整ガイドと棚本体の隙間に木材片等を差し込み、そのままの状態でもルトナットを締めなおす。  
※棚の出し入れが固い場合は、幅を狭める。
- ⑤棚を本体に戻す。それでもスムーズに動かない場合は、右側も同様に調整する。



## 故障かな？と思ったら(1)

以下のことをお調べになり、それでも正常に移動していないと思われた場合は、すぐに当社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。

保証とアフターサービスについては裏表紙をご覧ください。

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
●デジタル温度計の表示が消えている	湿度計に内蔵された電池の寿命が切れています。	本取扱説明書25ページを参照し、電池を交換してください。指定の電池は当社にて取り扱っていますが、市販でもお求めになれます。
●デジタル温度計の表示が消えかかっている ●ボトルのラベルが濡れている ●ドアまわりに水滴がつく ●氷付きが激しい	左記の原因はいずれも庫内の結露過多から起り得る現象です。下記の事を検証してください。 ドアは完全に閉まっていますか。	ドアと本体の間に何か挟まっていないか、ボトルがドアに当たっていないか確認し、ドアをしっかりと閉めてください。
	ボトルやラベルが庫内奥の冷却アルミパネルに当たっていませんか。	貯蔵棚に積み置きされたボトルや最下部のボトルが、庫内奥の冷却アルミパネルに当たっていたら、ボトルをアルミパネルより1cm前後離してください。
	サーモスタットを指定された数値以下に設定していませんか。	サーモスタットを指定範囲内に設定してください。
	移設等で高温多湿の場所に設置していませんか。	現在の設置場所に空調器、換気を設けてください。または高温多湿でない場所に移設してください。その際、車庫、倉庫等への設置は避けてください。(29ページ上段参照)

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
<p>●冷却稼働ランプ（グリーンランプ）が点灯していない、コンプレッサーの稼働音が聞こえない。コンプレッサーが故障して冷却していないのでは？</p>	<p>環境温度が設定温度より低い場合、あるいはサーモスタット（ヴィエイテック）または冷却サーモスタット（デュオ/セルヴィテック）の温度設定数値とデジタル温度表示の数値が近い場合（設定数値のプラス2℃～マイナス2℃の範囲内）、冷却稼働の必要はありませんのでコンプレッサーは停止し、グリーンランプは点灯していません。</p> <p>コンプレッサーの冷却稼働を確認したい場合は右記の操作方法で行ってください。</p>	<p>①コントロールパネルの電源スイッチを“O”の方に押し電源を切ります。</p> <p>②サーモスタットを現在の設定値より2～3℃下げます。ヴィエイテックはサーモスタット、デュオ/セルヴィテックは冷却サーモスタットを回して下さい。</p> <p>③10分後に電源スイッチを“I”の方に押し電源を入れます。</p> <p>④冷却稼働ランプ（グリーンランプ）が点灯し、同時にコンプレッサーの稼働音が聞こえてきます。</p> <p>⑤コンプレッサー稼働後10分経過後してから本体後部の黒色の放熱網（ワイヤーコンデンサー）を触ってください。放熱網が『ぬるま湯程度』の熱さになっていればコンプレッサー冷却及び本体の機能に問題はありません。</p> <p>⑥冷却確認後、サーモスタットの設定値を元に戻す際は、一旦電源を切ってから行ってください。</p> <p>⑦その10分後に電源を入れてください。</p> <p>※この時グリーンランプが消え、コンプレッサーが停止している理由は左記の状況と同じです。</p>
<p>●ドアガラスの結露が激しい</p>	<p>ドアガラスは外気温の影響を受けやすいため庫内の冷却温度との差により、結露することがあります。</p>	<p>冷却サーモスタットの設定値を1～2℃上げてください。庫内温度を上げることで、外気温との差を減少させ、数時間でドアガラスの結露はある程度解消されます。長期外出の際は、ドアガラスの真下にタオルを置いて結露水をしみ込ませるようにしてください。</p>

## 故障かな？と思ったら（2）

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
<p>●冬季になっていままでより湿度が低くなっている</p>	<p>熟成貯蔵型（ヴィエイテック）にみられる現象です。冬季の外気温の低い時期にはコンプレッサーの稼働時間も短いため、結露する量も少なくなり湿度が通常量を下回ることがあります。</p> <p>長期不在で人の出入りがなく通気・換気がない、エアコンが稼動していない期間ではありませんか。倉庫・車庫など、屋外の冷気を直接庫内へ吸収しやすい環境に設置していませんか。</p>	<p>冬季の外気温の低い時期にはコンプレッサーの稼働時間も短いため、結露する量も少なくなり湿度が通常量を下回ることがあります。</p> <p>このような環境・状況の場合、庫内の中段から下のボトルを多少取り出し、空いた場所に水の入った容器を置いてください。そうすることにより湿度を若干上げることができ、現象を回避することができます。</p>
<p>●引出し棚がレールから脱落する</p>	<p>『膨張防止バー』が外れていませんか。 (型式番号164/264タイプ)</p>	<p>ワインの重みで本体が膨張しています。本体の膨らみを直してください。</p> <p>①庫内のピンを全て取り出し、 ②2人で側面を探問的に押し、 ③もう1人が膨張防止バーの左右フックを元の穴に収めてください。</p> <p>※その際、側面の板を押さずに『黒い枠』の部分に力をかけてください。板を強く押すと破損する恐れがあります。(ケガ防止のため、軍手等をご使用ください)</p> <p>膨張防止バーが外れていないのに棚がレールから脱落する場合は、棚板を調整してください。(26ページ参照)</p>

# こんなときには

## ◆運搬するとき **注意**

原則として運搬及び設置は、当社または販売店指定の専門業者により行ないます。  
お客様指定の業者が運搬設置を行なう場合は、お客様と当社または販売店との了解の上で行なうこととします。

### 《お客様が移動設置を行なう場合》

- \*電源プラグを抜き、必ず移動前に庫内のボトルを全て取り出してください。
- \*ドア自体に重量があるので固定せずに搬送した場合、取付部品が歪んでドアが傾いてしまうことがあります。これを防ぐため、搬送の際は必ず緩衝材(ダンボール等)をはさんで床との隙間を無くし、ドアを支えてください。(右図参照)
- \*搬出入時、セラー後部のコンプレッサー及び配管に衝撃を与えないようご注意ください。
- \*搬送・設置の際にセラーを傾けている場合があります。コンプレッサー内のオイルや冷媒ガスが落ちてくまで、**再設置後48時間は電源を入れないでください。**設置後短時間で電源を入れると潤滑油が詰まり、コンプレッサーの故障につながることもあります。
- \*横積みは厳禁です。

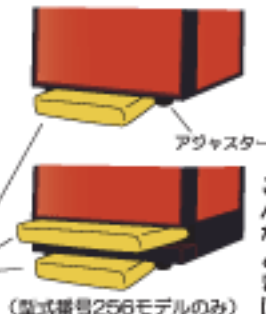
## ◆停電のとき

- \*扉の開閉を少なくしてください。(外気温の浸入を防ぐため)
- \*庫内に氷をたくさん入れた容器を入れておくと、温度が上がりにくくなります。

## ◆長期間使わないとき

- \*高温多湿でない場所・床が丈夫で水平な場所・換気がなされる場所に保管してください。
- \*再度ご使用になるときは庫内を清掃した後、2～3日扉を開けて乾燥させてください。(カビやにおいを防ぐため)

セラー後面のアジャスター(調節足)による、床面との間に生じた隙間にダンボール等の緩衝材をはさむ



お手入れ・困ったとき

故障かな?と思ったら  
こんなときには

# 保証とアフターサービス

- (a) 本製品の保証期間は、納入日およびお買上げ日より冷媒関係は満3ヵ年、その他電子機器パーツ・造作関係は満1ヵ年です。その期間内の工作上の欠陥による故障・損傷につきましては当社(日仏商事株式会社)または販売店にて無償修理いたします。  
(b) 保証期間を過ぎると、すべての交換部品および諸経費(修理先までの交通費・出動費・修理技術費)、または修理品本体のお客様設置先と当社との往復運搬経費等は有償とさせていただきます。
- 次のような場合は、保証期間内においても有償修理となりますのでご了承ください。有償内容は前文1.(b)と同等です。  
(a) お客様(ご使用者)による使用上の誤りおよび修理や改造・調整・移動による故障または損傷  
(c) 排水、熱源導入等の不備による故障または損傷  
(b) 天災地変による故障または損傷  
(d) 本体に不適当な環境への設置による故障または損傷
- 本体故障による内容物(庫内商品)の損傷・劣化についての補償はいたしませんので予めご了承ください。(夏季は3日に一度、その他の季節は週に一度、庫内温度と結露状態を確認してください)

## 保証書(別送)

- ◎内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- ◎ワイン・食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

## 修理を依頼される時

- ◎「故障かな?と思ったら」にしたがってお問い合わせください。それでも異常があるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ◎修理代金の構成内容は、上記1.(b)と同じです。

## 保証期間後の修理

- ◎保証期間後は有償修理とさせていただきます。詳しくは、当社またはお買い求めの販売店へご相談ください。

## ●ご連絡いただきたいこと●

型式/製造番号(別送の保証書に記載してあります)/お買上げ日/おなまえ・おところ・お電話番号/故障の状況(できるだけ詳しく)

## 保証期間

- ◎保証期間は、お買上げ日から1年間です。また、冷媒循環回路(コンプレッサー・冷媒配管等)は3年間です。

## アフターサービスについてご不明な場合

- ◎修理のご相談やご不明な点は、当社またはお買い求めの販売店へお問合せください。

## 保証期間中の修理

- ◎修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしがたい、当社またはお買い求めの販売店が出張修理させていただきます。

輸入元



日仏商事株式会社

NICHIFUTSU SHOJI CO., LTD.

日仏商事株式会社 本社 〒651-0087 神戸市中央区御幸通5-2-7 TEL(078)265-5963 FAX(078)265-5964  
東京事業所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-20-27 TEL(03)5778-2488 FAX(03)5778-2489

製造国：フランス